

女性の元気が東北を元気に！ 「とうほくIPPOプロジェクト」 第9期応募の受け付けを開始いたしました

株式会社フェリシモ（兵庫県神戸市）は、東日本大震災に対する息の長い復興支援の必要性から、女性による東北の産業復興を支援する「とうほくIPPO（いっぽ）プロジェクト」を全国のお客さまと一緒に進めています。3月25日より第9期の応募を受け付けを開始いたしました。



インターネットによる応募フォーム、ファクシミリ、郵送による申請書類はこちらからご覧いただけます>> <https://feli.jp/s/pr19032503/1/>

◆「とうほくIPPOプロジェクト」とは

フェリシモは、東日本大震災に対する息の長い復興支援活動の必要性から、「とうほくIPPOプロジェクト」を2012年より行っています。主催・責任者、主体者メンバーが女性であることを条件に事業提案を公募し、選ばれた個人・団体に支援金を支給して、被災地の産業や文化・コミュニティ復興のきっかけづくりにつなげることを目的としています。（被災地に密着した取り組みで、支援対象は東北在住の人に限り）第1期から第8期まで153件の活動を支援しました。

支援金は当社が東日本大震災直後に開設し、全国のお客さまからお預かりした「東日本大震災 毎月100円義援金（基金）」および、「東日本大震災もつとずっときつと基金」などから支給します。支給金額は、原則として1対象につき30万円前後～最大300万円までを上限とします。（コミュニケーション部門は最大20万円）女性が活躍することで、家族を元気にし、地域を明るく変え、社会を生き活きとさせていくような連鎖反応を期待して本プロジェクトの支援の対象を女性としました。そんな女性たちがこれから未来に向かって進んでいく最初の「一歩」となることを願って、「とうほくIPPOプロジェクト」と命名しています。

◆「とうほくIPPOプロジェクト」（第9期）概要

募集期間：

2019年3月25日（月）～2019年10月1日（火）

対象となる活動実施期間：

2020年4月 1日（水）～2021年3月31日（水）

対象となる活動：

【A】起業・事業化部門

起業、事業化等、産業復興につながる経済活動。東日本大震災による被災地（人々、街、産業）を元気にする事業活動。

【B】コミュニケーション部門

催事や集会、イベントや行事、その他地域の交流につながる集まりなど。東日本大震災による被災地（人々、地域）内外の交流を活発にする活動。

対象者：

被災地の産業復興支援に貢献するアイデアと実行力を持つ女性

※東北在住の個人・団体に限ります。

◎個人、グループ、団体など形式を問いませんが、責任者、主体者が女性であること。（活動メンバーに男性が含まれる場合も認めます）

◎営利団体、非営利団体は問いません。

◎事務局による情報収集や、第三者から推薦された個人・団体等も対象とします。

◎プロジェクトを遂行する能力を有し、支援金を管理する能力を備えた個人・団体。

◎被災地に密着した取り組みができる個人・団体とし、活動主体者の所在地が、東北地方や被災地にあることに限定します。

※過去にご支援した活動についても、効果が優れていた場合には複数期にわたって支援対象とする場合もあります。

◎当プロジェクトの支援金のみで行われる活動も、当プロジェクトの支援金と合わせた資金によって行われる活動も審査の対象とします。

◎新規の事業活動に限らず、既存の事業活動の一部資金としての申請も可能です。

◎【A】については、人件費、家賃、仕入などランニングコストの用途よりも、設備や備品購入など長期的に残る資産への用途のほうが望ましい。

支援金について

【A】起業・事業化部門

原則として1対象につき30万円～最大300万円までを上限として支援金を支給します。

【B】コミュニケーション部門

原則として1対象につき最大20万円までを上限として支援金を支給します。

審査ポイント

【A】起業・事業化部門

当プロジェクトの趣旨に沿うこと、実行が可能なことを前提に、事業としての「実現性」、「継続性」、「発展性」を審査させていただきます。

【B】コミュニケーション部門

当プロジェクトの趣旨に沿うこと、実行が可能なことを前提に、交流事業としての「必要性」、「企画内容」、「運営体制」を審査させていただきます。

< 応募書式 >

インターネットによる応募フォーム

郵送やファクシミリなどによる応募書類は以下のページよりご覧いただけます

>> <https://feli.jp/s/pr19032503/1/>

< 応募・審査スケジュールならびに審査方法 >

【インターネット・FAX 募集の締切日】

2019年10月1日（火）23：59まで

【郵送の場合】

2019年10月1日（火）※消印有効

※ご提出いただいた書類確認は、申請締め切りの2019年10月2日以降に行います。

< 選考方法 >

[一次審査] 2019年10月中旬
事務局が中心となり、申請書類の内容をもとに審査させていただきます。
[二次審査] 2019年11月～2020年1月
必要に応じて代表者に対して現地でのヒアリングをさせていただきます。
[最終審査] 2020年2月
提出書類や二次審査の結果を参考に最終審査をさせていただきます。

< 決定時期 >

[結果発表] 2020年3月上旬
申請者に対し結果を通知、また「とうほく IPPO プロジェクト」WEBサイトなどで発表します。

< 助成金額 >

1件あたりの上限額：【A】3,000,000円 【B】200,000円

< 実施報告 >

支援金の支給を受けたプロジェクト申請者は、月1回程度、当プロジェクト公式WEBサイトなどで活動報告をしていただきます。また、3年間にわたって、1年ごとの収支・活動報告書をご提出いただきます。

< よくあるご質問（FAQ） >

- Q. どのような活動・経費も支援対象になりますか？
A. とうほく IPPO プロジェクトは、事業継続が見込まれる活動を応援するものです。そのため諸経費を事業収入でまかなうことができるか、という点も審査の対象のひとつとなります。したがって将来的な事業収入が見込めない活動や、申請金額のうち人件費の比率があまりにも高い場合などは、持続可能性が低いと見なされる場合があります。
- Q. ほかの助成金からの助成を受けていると、審査が不利になることはありますか？
A. すでに助成を受けていることが不利になることはありません。
- Q. 団体の代表者が男性なのですが、応募は可能でしょうか？
A. 応募者が所属する法人、NPOなど団体の代表者が男性であっても問題ありません。ただし、申請する事業活動単位の活動責任者、主要メンバーは女性である必要があります。
- Q. 提出した書類の内容に不備がないか、審査の前に事前確認してもらえますか？
A. ご提出いただいた申請内容は、応募締め切り後に確認しますので、個別の事前確認は承っておりません。審査を進めるうえで不明な点は、こちらからご連絡差し上げてお尋ねします。

◆東日本大震災支援活動について

フェリシモは「もっと、ずっと、きっと」という言葉をスローガンに、全国のお客さまと大きな応援団をつくり、復興につながる活動を続けています。そのうちのひとつの活動である「東日本大震災毎月100円義援金（基金）」は、お客さまに毎月一口100円の寄付による参加をいただき、今も全国のフェリシモのお客さまから毎月2万口以上が集まっており、累計で3億5千万円を超えています。東日本大震災から8年となります。フェリシモでは今後も東日本大震災の被災地支援を継続して行って参ります。また、弊社商品の一部を基金付きで販売し、お預かりした基金を「もっとずっときっと基金」として東日本大震災の復興支援、子ども支援に活用していただいています。

フェリシモ 東日本大震災 復興支援ポータルサイトはこちら>> <https://feli.jp/s/pr19032503/2/>
過去の「IPPOプロジェクト」の近況もご覧いただくことができます。

◆本件に関するお問合せ先

(申請書類の郵送ならびにファクシミリの宛先もこちら)

〒650-0035 神戸市中央区浪花町 59 番地

株式会社フェリシモ 広報部内

とうほく IPPO プロジェクト事務局 (小池・中島・市川)

TEL. 078-325-5700 FAX. 078-331-1192

E-mail: press@felissimo.co.jp ※件名には「とうほく IPPO プロジェクト第9期」と必ずご記載ください。

～ともにしあわせになるしあわせ『FELISSIMO [フェリシモ]』～

— 会社概要 —

社 名：株式会社フェリシモ

本社所在地：〒650-0035 神戸市中央区浪花町 59 番地

代 表 者：代表取締役社長 矢崎和彦

創 立：1965年5月

事 業 内 容：自社開発商品をカタログやウェブサイトにて全国の生活者に販売するダイレクトマーケティング事業

◆会社案内 (PDF) >> <https://feli.jp/s/pr181201/1/>

◆ウェブサイト>> <https://feli.jp/s/pr181201/2/>

◆みなさまとともにしあわせ社会をめざす基金活動>> <https://feli.jp/s/pr181201/3/>

◆本件に関するお問い合わせ先

株式会社フェリシモ 本社広報部 (小池・中島・市川)

TEL. 078-325-5700 FAX. 078-331-1192

e-mail: press@felissimo.co.jp